

守りたいのは命、残したいのはきれいな水と空気

里山一川物語展

藤枝南ロータリークラブの創立15周年記念事業として水保全体験版「里山一川物語展」が5月4日～6日にかけて藤枝市本郷の藤の瀬会館で行われました。瀬戸川フォーラムと



NPO法人里の楽校では、ロータリークラブさんからの協力依頼により子どもからお年寄りまで大人気の「瀬戸川水族館、タッチコーナー」を実施しました。山田辰美先生を隊長として富士大の学生リーダーのもと子どもたち50名参加により「水の不思議探検隊」も開催し、よもぎ石で宝石づくりや川の音を木の棒で聞いたりしました。

藤枝南ロータリークラブさんの取り組みとして「里山-

川と暮らし写真展 テーマ「川と暮らし いま むかし」が行われ、地域の写真家12名の作品が展示されました。どの作品も里山や川の美しい風景と流域で暮らす人々や文化を見事にとらえられていました。

夕方からは、藤枝在住の環境民俗研究家の八木洋行先生監修による「民話の夕べ」が竹灯りのなかで、瀬戸川や大井川に伝わる民話朗読や紙芝居が厳かに行われました。

参加者には流しソーメンが振る舞われ、アンケートに答えていただいた方に瀬戸川フォーラム恒例の「エコマネーどんぐり」も配布しました。



ふるさとの里山一川の保全活動を育てよう！



平成18年度の事業計画

【主催事業】

- 第9回 せと川フォーラム 開催
11月11日(土) 藤枝市本郷 藤の瀬会館
- せと川 なるほど講座 年4回
(5月、6月、9月、平成19年1月)
- 会誌発行 年4回 瀬戸川通信
(5月、9月、12月、平成19年3月)
- 環境保全活動支援事業 エコマネー支援
- 瀬戸川副読本(マップづくり)
志太広域事務組合助成事業
- 元井戸ワークショップ 瀬戸川ランドワーク
の取り組み(市民、企業、行政) 5月～3月

【ネットワーク団体事業】

- せと川 里の楽校 夏休み子供キャンプ
8月3～6日 藤枝市助宗～市ノ瀬

- 小学生 56人 6～7月募集予定
- あげんたい 8月5日(土)
- 水上の里 田んぼビオトープ
田植え 6月1日、3日 藤枝市、水土里ネット
- 第6回 しずおか川自慢大賞
平成18年2月 静岡市くるくる
- 瀬戸川クリーン
藤枝市(藤枝市瀬古) 5月28日(日)
やいづエコ999倶楽部(焼津市浜当目)
6月10日(土)
- 大井川もりみず守り隊 企画協力 5～7月
- 協働事例発表会 参加協力

瀬戸川フォーラム
正会員・ネットワーク会員
募集中！！



協賛各社

藤枝南ロータリークラブ
黒川医院 菅ヶ谷内科医院
青島歯科医院(株) 松浦恒産
岡歯科医院 小柳津久男事務所
(有) 桑原モータース
佐野設計工房一級建築事務所
服部歯科医院音羽町診療所
(株) エクノスワタナベ
(株) 山田組 大鐘測量設計

瀬戸川フォーラム ネットワーク団体

しずおか流域ネットワーク/志太自然ネットワーク/NPO法人里の楽校
森林組合おおいがわ/静岡県島田土木事務所/藤枝市役所
瀬戸川 朝比奈川非出資漁業協同組合/ふるさと建設の会
水土里ネット大井川/志太エコクリエイト/瀬戸川Ide明想望
NPO法人VIT/(社) 藤枝法人会/大井川流域ネットワーク

瀬戸川フォーラムのHPもご覧ください。http://www.ryuikinet.gr.jp/setogawa/
瀬戸川通信 編集責任者 大井川流域ネットワーク 小田 稔彦
島田市中央町31-10 TEL 0547-36-0706

川のみらい・地域のみらいについて考える情報紙

瀬戸川通信 第23号

発行 瀬戸川フォーラム 平成18年 5月30日



瀬戸川 馬洗淵(藤枝市本郷) 藤

瀬戸川フォーラム 2005年度 活動報告

瀬戸川フォーラムは、1997年に本格的な活動を初めてから8年が経過しました。瀬戸川流域を一つの地域単位と考え、流域内で活動する様々な団体との情報交換や協力事業、総合学習支援、行政との協働での取り組みを行ってきました。今回の瀬戸川

通信では2005年度の瀬戸川フォーラムの活動内容を振り返り、瀬戸川の育んだ自然と文化を再発見するための良い機会となるようにと活動報告を掲載しました。

4月 元井戸座談会 藤枝市原地区



4月26日に原公会堂において「元井戸座談会」(元井戸の保全を考える)を開催しました。自治会の方々や古老の皆さん、学生さんも集まり、31名の皆さんに参加して頂きました。

6月 せと川 クリーン作戦 焼津市駅北周辺

焼津地域のクリーン作戦は、上流である藤枝市のゴミ拾いにお手伝いに来てくれた「やいづエコ999倶楽部」の主催で6月11日(土)に行われました。同倶楽部(福井立子代表)は、次世代のために、いま手の届くことから始めようを合い言葉に、学習や実践に取り組んでいる市民グループです。

昨年に続いて「瀬戸川ゴミ拾い隊」を結成して河口域のゴミ拾いを行ってくれました。近隣の自治会、事業所、「瀬戸川を愛する会」(第6自治

5月 せと川 クリーン作戦 藤枝市勝草橋周辺



5月29日出水による漂着物対策調整会議(藤枝市、県島田土木事務所)の主催する河川統一美化運動に焼津地域から「やいづエコ999倶楽部」の福井代表に応援にきていただ

き河口域の現状について報告していただきました。焼津漁協さんの協力を得て美化に参加してくれた人たちにシラスのプレゼントを行いました。

会)など約60名の方々に参加をしていただきました。

「瀬戸川フォーラム」も少人数でしたが、「エコマネーどんぐり」を持って参加しました。上流域よりも遙かにごみの量は多く上流域の人たちにもこの現状をしてもらい下流域の清掃活動にも参加すべきだと感じました。「どんぐり」を手渡しして感謝の気持ちを伝えました。



8月 せと川里の楽校キャンプ 第7回 瀬戸谷なつまつい交流

NPO法人里の楽校（協力団体：瀬戸川フォーラムほか）は、「せと川里の楽校2005夏の子どもキャンプ ずがにの毛（誇りに思うこと!）」を8月4日～7日までの4日間、藤枝市宮原、助宗、滝沢、本郷地区で小学生60名、スタッフ16名、学生リーダー35名、ジュニアリーダー6名、ボランティア30名の総勢147名を集めて「河川とその流域の豊かな自然と文化にたっぷり子ども達を浸し、たくさんの里体験や交流を通じて、遅く感性豊かな子どもの育成を目指すこと」をねらいとして行いました。

今年も恒例のあげんだいは、瀬戸谷地区の「生き生きフォーラム」が主催している「せとや夏祭り」にボランティア協力を行い、地域の人々と共同で行いました。いつもの河原ではなく、本郷の「藤の瀬会館野外広場」に3本のとうろうを立てましたが、広場の大きさが狭く少し窮屈な配置となってしまいました。



天狗登場 挑戦状



リバートレッキング

た。今回のあげんだいづくりの指導をしていただいたのは、藤太夫島組の方々で竹取から一緒に行ってもらいました。いつも作る方法と少し違いもあり村によって伝承された技術に違いがあるのに驚きました。



あげんだいづくり

8月 志太教育研究集会 自然体験サポート

8月9日に志太教育協議会の依頼を受け「教育研究集会」（生活科部会）の自然体験研究のコーディネートをしました。当日は志太地区3市2町の小学校の1、2年生担当の先生方約80人が参加して「川の楽しさと安全管理について」研修が実施されました。講師には瀬戸川フォーラムのメンバーでもある「しずおか流域ネットワーク」の川のインストラクター安藤さん、鈴木さんや島田土木事務所職員の方々に行って頂きました。



瀬戸川フォーラムの活動紹介と「エコマネーどんぐり」の取組について紹介をさせて頂きました。



10月 瀬戸川 観察会 島田第5小学校 魚道しらべ

10月27日に島田市立第5小学校の子どもたち60人が瀬戸川の魚に優しい段差（魚道）を学習にきました。第5小学校の子どもたちは学校の近くを流れる大津谷川をテーマに総合学習に取り組んでいます。大津谷川の現状を見て段差の大きさにびっくりし、アユやウナギなどが行き来出来ないことに気づきました。隣の川の瀬戸川に魚の気持ちになって出来ている段差があることを聞いて勉強にきました。瀬戸川フォーラムでは、瀬戸川にある3箇所（藤枝市宮原、本郷、本郷上）の段差をみてもらい色々な形があることや魚がのぼりやすいかを調べ魚の通り道を絵にしました。子どもたちは、川の中において魚道に実際近づいてみると、水の流れの速さや水の量にびっくりしていた。子ども達は、また、河川愛護の一環としてゴミ拾いも行った。



11月 第8回 瀬戸川フォーラム 藤枝市inせとやまるかじり

11月19日（土）に藤枝市本郷にある藤の瀬会館において「せと川フォーラム2005」第8回を行いました。今回のフォーラムは、「心なごむふるさとの川づくり」を副題に、藤枝市瀬戸谷地区の秋の大イベント「せとやまるかじり2005」に相乗りで開催しました。「せとやまるかじり」を運営する「瀬戸谷生き生きフォーラム」の協力を得て藤の瀬会館に「瀬戸川水族館」を展示するなどして、通常のまるかじりでは味わえない企画を持ち込んで多くの集客の中で瀬戸川フォーラムのアピールを図ることが出来ました。



まるかじり会場 藤の瀬会

今回のフォーラムでは、午前中は「せと川まるごと見つけ隊」午後は「せと川楽会」と題して瀬戸川の清流と里山を守るため、たくさんの人や団体の交流と瀬戸谷地域の元気をもらいながら、こどもたちや学生リーダーの協力による地域の活性化にと開催しました。

瀬戸川フォーラム関係者は、流域で環境保全活動を行っている15団体メンバーと団体参加者で約150名の参加がありました。まるかじりに当日参加して頂いた一般の方にも多数「水族館」を覗いてもらったり、パネル展示（瀬戸川フォーラム参加団体の活動紹介）の説明を聞いていただきました。「せと川楽会」では、日頃の研究や調査、活動成果を参加して頂いた方々に話題として提供して頂きました。また、文化活動として瀬戸谷に伝わる「馬洗い淵のカツパ」伝説を山田先生が再話として書いたものを平井さんの朗読により皆さんに聴いて頂きました。

まるかじり会場では「楽市」として、流域内で活動する団体が海産物、上流域の物産や手作りのクッキー、グッズなど

2月 第5回 川自慢大賞(るくる)



平成18年2月25日に静岡の「るくる」において県内の様々な川での活動団体や個人による川自慢の発表交流会（第5回）が実行委員会の主催により行われました。

○川自慢大賞 焼津水産高校2年 成島君「藪田川

カワバタモロコの保護活動発表」

さらさら清流賞：静岡市清水中河内小学校4年（ぼくらの中河内川） るるんとときめき賞：静岡市川原小学校4年（安倍川大好きっこ活動）

わくわく生物賞：しずおかサイエンスアドベンチャー（水のおまわりさん） ニコニコふれあい賞：島田市第5小学校4年（魚にやさしい川作り） ロングラン賞：グループカレッタ（河川パトロールカー川を守る?）

瀬戸川フォーラム発表 志太エコクリエイト、大井川流域ネットワーク、富士大学学生

準備し、活動の紹介と同時に参加者の方々と交流を深めました。

せと川フォーラム恒例のエコマネー（環境保全活動や学習をして頂いた人に瀬戸川フォーラムがお礼の意味を込めて提供している）「どんぐり」が大活躍し、瀬戸谷地域のまるかじり出展者、参加者を巻き込んで「楽市」を大いに盛り上げてくれました。

瀬戸川フォーラムは「瀬戸川」をキーワードに企業やNPO、活動団体、行政、学校、一般市民の協働の取組として活動しています。この取組を市民にお知らせすることが出来たことは一定の効果があったのではと感じています。さらに、継続的な活動、広報、交流を通じて宝物である「瀬戸川」を生かした地域づくりを目指して、活動を続けていく必要性を強く感じました。



瀬戸川de明展望 タッチコーナー



里楽 ネチャークラフト



水土里ネット+島田土木事務所

●瀬戸谷中学校 活動報告 瀬戸川で暮らす魚 渡辺真千子さん（2年生）今年の子ども県議会で質問した内容について報告して頂きました。瀬戸川に棲む貴重な魚のアカザが減っています。自然にやさしい水辺づくりをしましょう。



●新月伐採と木材の地産地消費 新井 真氏（新井建築設計）冬の新月直前に伐採し、乾燥させた木材は割れやくるといいますが少なく、良い家が造れます。地域の木材を使用して家を建てることで、森林保全につながります。



3月 第2回 協働の事例報告

平成18年3月12日に、県内各地の市民と行政が協力して事業を行っている協働の事例を紹介する第2回協働事例発表会「協働の底力。」が、静岡市鷹匠のもくせい会館で開催されました。当日は、約190名の参加者が集まり、県中部地区を中心とした3つの協働事例の発表と紹介があり、瀬戸川フォーラムも朝比奈川での地域の人たちとの協働の取組「かあ～らの会」ふるさと体験の場づくりや「元井戸」の取り組みについて事例紹介をしました。また、三重県での協働の取り組みについて学びました。



瀬戸川フォーラムの目的

1. 流域の自然の保全と文化の振興を図る。
2. 流域を中心に活動する市民の交流をすすめ、流域の望ましい姿を考える。
3. 子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設ける。